

学びのネットワーク 市民講師によるサロン塾

「人材バンク推進委員の会」と市民大学との共同企画

第2回

俳句入門

—形式に拘ない自由な俳句—

日時 9月12日(月) 13:30~15:30
会場 鶴瀬公民館 いきいき活動室
講師 世羅陽一郎氏(市民人材バンク登録者)
受講生 15名



講師 世羅陽一郎氏

講師が俳句を始めたのは、中学生のころ校内新聞に投句し、それが掲載されたことにより活字の楽しさを知ったことから始まった。

高校時代は、文芸部を創設し、年間二回の文芸誌発刊するまでになった。俳句に深く関わるようになったのは、上京時に恩師の紹介による句会(神田須田町)に参加するようになってから。その後、学生生活を世田谷で過ごしたため、句会に出られなくなり、結社に入らず独学で俳句を続けた。

それ以来、毎日日記代わりに作句し、56年間で約8千余句になり、現在はもう一度推敲してその時々季節や情景。感情模様が蘇ってくるとのこと。

簡単な俳句の約束事は

1. 定型短詩:五(上句)七(中句)五(下句)十七音リズムと音律
2. 季語を入れる(春夏秋冬)
3. 余韻を大切に→語句を大切に
4. 切れ字「や・かな・けり」強く詠嘆と余韻を表す
5. 係り結びー「ぞ・なむ・や・か・こそ」句の意味を強調する
6. 字余り・字足らず

以上のことを頭に入れて作句することが大切。



江戸時代から近現代の俳人系譜と作品の紹介

松尾芭蕉から始まり明治・大正・昭和にわたる著名な俳人の人物紹介と作品の紹介・解説が行われた。

最後に受講者の中で作句をした人が講師に添削をしていただいた。

